

6月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	頭髪検査
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	園開放(第二みみょうこども園にて)
8	土	運動会
9	日	運動会予備日
10	月	
11	火	
12	水	みみょう文庫 16:00~18:00
13	木	
14	金	身体計測 園開放(第二みみょうこども園にて)
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	尿検査再提出日
19	水	尿検査再提出(予備日)
20	木	
21	金	避難訓練・誕生会 園開放(第二みみょうこども園にて)
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	翠町中学校職場体験
26	水	翠町中学校職場体験
27	木	園児健康診断(眼科・耳鼻科) 翠町中学校職場体験
28	金	園開放
29	土	
30	日	

＜子どもの“言いたい、やりたい” 思いを大切に＞

子どもたちと一緒に植えたトマトやきゅうりもすくすく育ち、かわいい黄色い花が咲いています。毎日、ペットボトルの手作りジョウロで保育者と一緒に「おおきくなーれ」とお水をやり、夏野菜も大切に育てています。

先日、「おたまじゃくし」がみみょう保育園へやってきました。5ミリほどの小さなおたまじゃくしが泳ぐ水槽を囲って、不思議そうにのぞき込んでいます。他にも、かたつむりやかぶと虫の幼虫など、たくさんの生き物が暮らしています。毎日、子どもたちは保育士がお世話をしている側でえさを一緒にあげたり、かたつむりの赤ちゃんが産まれると喜んだり、かたつむりはにんじんを食べるとオレンジ色、菜っ葉を食べるとみどり色のうちをすることを実際に見て知りました。そして、今では2歳児クラスの子どもたちはいろいろな種類や色の野菜をあげては眺めているところです。生き物を通して、子どもたちの「なんでだろう?」「ふしぎだな」「触ってみたい…」など、興味・関心が深まっているようです。また、0・1歳児の子どもたちも送迎時に水槽をのぞいてみては、「おたまじゃくしいるね」「今日もめだかさん元気だね」といった、親子のやりとりも見られ、ほほえましく思っているところです。

乳児期の子どもたちは豊かな環境や大人のちょっとしたしかけや工夫から、たくさんことに気が付き、深く考えています。例えば、「この、はねのはえているむしさんのおなまえはなに?」「かたつむりさんのあかちゃんちいさいね。いろがちがう!」など、あそびの中には学びにつながる要素がいっぱいです。

0歳(胎児)の時から、言いたいことややりたいことを思う存分できる豊かな環境の中で、満足し、納得するまであそび込むことが大切です。子どもたちの興味・関心がどんどん膨らむ好奇心旺盛な乳児期に、生き物や草花などが豊富にある環境の中だからこそ、見たり・触ったり、時には命の尊さに直面するなど、毎日たくさんの経験をしています。試して遊ぶ中で、自己肯定感を土台にどのようなことにも「もっとこうしてみよう」などアイデアや意欲を持ったり、めげずにチャレンジする精神力へと繋がっていくのではないのでしょうか。まさに、あそびを通して、みみょうグループのテーマでもある“自己肯定感を土台に、自分で考え判断できる子に”育っていくのです。ご家庭においても、園の行き帰りや生活の中でお子さんの目線や気づき、思いにじっくり向き合う機会としていただけると嬉しいです。

令和6年度のみみょう保育園では、「みーんないっしょ!～つながる みみょうっこ～」をサブテーマとし、子どもをまんやかに保護者のみなさんや地域の方、保育者同士も更につながりを深め、一人ひとりの個性や長所が伸ばしていけるような保育をしていきます。これからの時期は、水や泥に触れる機会も増え、探求心もますます深まっていきます。雨上がりの園庭で水たまりの波紋やしすくの不思議さを一緒に感じ、雨の季節ならではのあそびも楽しむ中で感性豊かに育ってほしいと願っています。また、6月初旬にはうんどうかいも予定しています。暑さも心配されますが、熱中症対策や水分補給などご準備いただき、ご参加いただけると嬉しいです。

子育て応援メッセージ

小さいときは手をかけて
大きくなったら心をかける



髪を結んであげたり、抱っこしたり、小さい時は手をかけてあげることができます。でも、大きくなるにつれて子どもは手から離れていきます。その分、心をかけてあげましょう。心の成長は、大人になるための大切なステップですから。

著：宇津崎光代「大丈夫だよ
お母さん」より
いろは出版

＜ 地震・水害に備えよう ＞

消さないで
あなたの心の
注意の火



広島市南消防署 警防課 救助係

うんどうかい

日時：6月8日(土)

みみょう保育園・第二みみょうこども園の0・1歳児さんは『親子で遊戯』、2歳児さんは、『親子で競技』をします。詳しくは、おたよりでお知らせします。



みみょう保育園 園長

